



1 明北小3年・かしわ学級『しいたけの駒打ち』 4月16日(木)

<3学年だよりから>

「明北小ならではの しいたけの駒打ち！」

昨日1・2校時に、安曇野市役所耕地林務課から4名の皆さんに来ていただいて、しいたけの原木に種駒を打ち込む作業を行いました。始めに、きのこの種類や里山の役割等について、パネルを見ながらお話を聞きました。その後、軍手をして、説明を聞いてから作業に入りました。一人一本の原木に、チョークで穴を開ける位置に印付けました。次に、電動ドリルを使って穴を開けました。これがなかなかの振動があって、ドリルを支えるのに頑張っていました。最後、穴に一つずつ2cmほどの種駒を木槌で打ち込んでいきました。原木に対して平らになるようにしっかり打ち込みました。できあがった原木は、体育館横の場所に運びました。ちょうど5年生がしいたけを収穫して、ホットプレートで調理して、食べているところでした。自分たちも、2年後に生えてきたしいたけをこんなふうに食べるんだな、と分かったことと思います。初めてのことで、ドキドキワクワクしながらの作業でしたが安全にできました。



明北小では、20年以上前から伝統的にしいたけ栽培をしています。3年生とかしわ学級が駒打ちを行い、2年後に収穫しています。過去には、近くの雷(かんだち)山に駒打ちした原木を置き、収穫しに行っていたこともありましたが、現在は、校地内に置き、収穫しやすくしています。子どもたちは、大きなしいたけがたくさん収穫できることを願いながら、仲間といっしょに楽しく作業を進めていました。地域の方の協力で、明科だからこそできる貴重な体験です。

2 明北小5年『しいたけの収穫』 4月16日(木)



2年前に駒打ちしたしいたけが立派に育ちました。大きく成長したたくさんのしいたけを目の前に、喜びを感じていました。収穫後はしいたけを焼き、バター醤油味や塩味で食べました。分厚い傘とあふれる汁、そして味に、思わず笑みがこぼれていました。お家の方にも味わってもらおうと、収穫したしいたけを持って帰りました。今後も、地域や学校のよさを活かした体験を通して、子どもたちの笑顔が広がっていくことを願っています。

3 明北小6年『音楽会 6/10に向けて』 4月16日(木)・5月11日(月)



『音楽会に向けて』 6学年だよりから
 今年の音楽会を子どもたちはどう考えているのかな?と思い、音楽会はやるの?と子どもたちに問うと「そりゃやるよ!」「やりたーい!」と勢いのある返事がありました。そこから音楽会の目的は?と尋ねると「音楽で学習してきたことを発表するため」「努力の実を結ぶため」「音楽を楽しむため」「全校の気持ちを一つにする」「音楽で一つにする」「達成感を味わうため」など、子どもたちなりに音楽会の目的について語っていました。溢れる思いはすごく「そのために何をすればいいか」「どんなことができるか」など具体的にどんどん話し合いが進んでいきます。
 5年生の頃に抱いた明北小に対する「願い」が生かされるように「他の学年はどう思っているのかな?」「低学年でもできることを考えよう」「保護者や先生たちともやりたいよね」等、全校のことを考えた発言が光りました。頼もしく成長し、学校のリーダーとしての自覚を深めていく様子が伺えました。

昨年度の6年生の姿が、現6年生に引き継がれ、「自分たちで、みんなが楽しめる音楽会を企画してやり遂げたい!」という思いが、ひしひしと感じられました。「全校でマツケンサンバをやろうよ」「お家の方や先生方にも参加してほしいね」「プログラム作りや会場、装飾の係も必要だね」等々、思いが言葉になって溢れてきます。スローガンも自分たちで考えを出し合って決めました。伴走支援者として教師の「委ねる姿勢」が、子どもたちの「やりたい」を後押しし、試行錯誤を繰り返しながら一步一步前に進む子どもたちです。

